

報告

## 施設職員間の情報共有

—重症心身障害児施設における実践から—

手島 みゆき\*

Miyuki TESHIMA

### はじめに

鼓ヶ浦こども医療福祉センターでは、外来・病棟・通園部・リハビリテーション部門等を併せ、障害のある児に、総合的な医療と療育を提供している。重症心身障害児施設ひばり園は、病棟部門の一つである。

これまで当施設では、利用者の個別情報を知るための簡便な資料が存在していなかった。そのため、看護カルテや業務連絡簿等複数の記録物の閲覧、経験年数の長い職員からの聞き取り等の他、個別情報を収集する手段を持ち得ないという課題を抱えていた。利用者の援助に際し、必要な情報を確認する場合も、資料を見て判断するのではなく、職員同士の確認で済ませてしまうため、時間の経過や職員の入れ替わり等が重なると、適切な援助の継続が困難になっていた。以上のような状況から、新任職員も、業務を習得するまでにかかなりの時間を要していた。

こうした問題を解決するため、私たちは現在、情報共有を図るための資料作成に取り組んでいる。ここに、これまでの取り組みの内容と、今後の課題を報告する。なお、本報告は、2008年に行われた、第19回重症心身障害療育学会学術集会にて発表した原稿を基にし、その後の経過を加えたものである。

### 1. 施設の概要

本施設は重症心身障害児施設で、病床数は45床（入所者43名）、利用者の平均年齢は26.6歳（2～50歳）である。利用者の主な障害は、脳性麻痺、

知的障害、てんかんで、内訳は大島分類による1～4（寝たきり・座位保持可・IQ35以下）レベルが31名、動く重症児者（ハイハイ・伝い歩き・不安定な独歩）が12名となっている。利用者は移動・食事・排泄等生活全般に介助が必要で、言語的コミュニケーションは困難である。個々によって運動機能や知的レベル、医療度が異なり、安全面を考慮すると、場面に応じたマンツーマンの関わりと24時間の見守りが必要な状態にある。

支援に当たる職員は、看護部18名（看護師、准看護師）、育成部26名（介護福祉士、指導員、保育士等の福祉職）となっている。

### 2. 目的

今回の取り組みの目的は、当施設の職員が、全入所者の個別の情報について、職種や経験年数を問わずに共有できる資料を作成することであった。資料の名称は「情報共有シート」とした。

### 3. 方法

育成部に所属する経験年数10年前後の4名の職員でチームを構成し、月1回の話し合いにて、取り組み内容の検討を行った。

### 4. 取り組みの過程

#### (1) 情報共有シートの作成

作成の取り組みについて図1に示した。具体的には、まず様式の作成に当たり、いくつかの既存のアセスメントシートを参考にしようとした。しかし、利用者の特性に対し、そのまま引用できる

\*鼓ヶ浦こども医療福祉センター 重症心身障害児施設ひばり園指導員

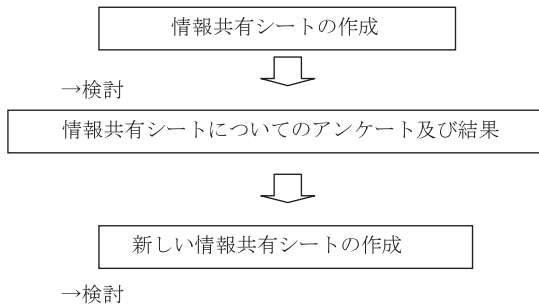


図1 情報共有シート作成プロセス

ようなものが見当たらなかった。在宅向けに作成されたシートは、自立度のアセスメントを目的としており、選択項目そのものが当施設の利用者には当てはまらず、介助上の注意点も記入し辛かった。さらに、コミュニケーションについては、細かな特徴を捉えられるようなものがなかった。

こうしたことから、本施設において独自の様式を作成することにした。項目は、既存の利用者に関する資料から基本的な情報を整理すると同時に、十分な記録ができていなかったADL（日常生活動作：Activities of Daily Living）やコミュニケーションについても取り上げ、生活全体を捉えたものにした。ADLについては、選択項目と1～3行程度の記述欄を併用し、情報を把握しやすいようにした。情報量が多すぎると、記入だけでなく、読むことも負担となり、活用されにくくなると考え、それぞれ項目の分量を調整し、A4サイズの2ページに収めた。この時点での名称は、「アセスメントシート」とした。

これについて検討したところ、必要と思われる項目を整理しただけに終わっており、利用者のアセスメントができるものではない、という課題が見つかった。そこで、アセスメントについては今後の課題とし、まずは「職員間の情報共有を行う」という目的を再確認した。また、項目のいくつかは訂正が必要であった。

そこで、名称を「情報共有シート」と改め、様式を一部改訂し、記入を行った。記入者は、看護部・育成部のケース担当とした。記入時の参考と

して、記入上の注意点、各項目の説明および実際の記入例を提示した。

## (2) 情報共有シート記入後の検討

職員により記入を試みたところ、特に記述欄で、内容のばらつきが多く見られた。不適切な表現もあり、記入者の書き直しが必要とされた。また、様式については、2ページと制限したために、必要な情報をまとめ切れていなかった。その他、罫線が多すぎるといった、視覚的な捉えにくさもあり、課題が残された。

## (3) 情報共有シートについてのアンケート及び結果

この段階で、施設における全職員に情報共有シートに関するアンケートを行った（質問「情報共有シートについて、どう思いますか？また、記入してみてどうでしたか？」についての自由回答）。主な結果は以下のとおりである。

### ①情報共有シートの効果

「情報を得やすくなった」「便利である」「知らなかったことが分かった」「情報の共有ができる」

### ②入所者に対する理解

「対応がしやすくなる」「入所者の状況を確認できた」「知っているつもりでも、記入してみても、はっきり把握していなかったことが分かった」「意識の向上になるのではないか」「言葉でコミュニケーションを取ることが難しい入所者が多いため、少しでもいろんな情報を知ることができて良いと思う」

### ③様式についての指摘

「記入する欄が小さく書きにくい」「不足している項目や、不要と思われる項目がある」「見にくい」

### ④課題や期待

「更新していかないと見なくなる」「記入に時間がかかった」「書き方を統一するのは難しい」「継続してほしい」「これを良い機会と捉え、アセスメントのあり方を話し合う場・時間が取れ

ればと考える」

以上のように、情報共有シートに対するプラスの評価や、今後につながる意見が多く寄せられ、アンケートの実施によりこの取り組みに関心を持った職員の多いことが確認できた。

#### (4) 新しい情報共有シートの作成

これまでの過程から、新しい様式の作成と、記入方法・活用方法について検討を行った。まず、当施設の利用者の特性を見直し、介助場面における情報を中心にした。看護に関する情報は別の形でまとめることになったため、最小限にした。それに伴い今回の記入者は、育成部のケース担当とした。情報の記入と把握がしやすいよう、選択項目を独自に作成し、記述欄では十分と思われる分量を取った。また、基本的な情報が記載されている既存の資料（個別支援計画書・個別カンファレンスのサマリー）はそのまま添付することにし、様式の項目を調整した。加えて、視覚的な情報の入りやすさにも配慮した。様式を緑で作成し、チェックは赤、記入は黒の3色を用いることにした。罫線は最小限にした。用具や介助方法の説明には、必要に応じて写真を使用することとした。こうした検討の結果、現在は6ページとなっている（資料）。各項目と、記入する内容は表1の通りである。

さらに、取り扱いも容易にできるよう配慮した。

バインダー型のクリアファイルを使用して、用紙の出し入れをしやすくすることで、変更点の記入、内容の増減、ページの入れ替え等にも対応できるようになっている。保管は施設の職員詰所内とし、自由に閲覧できる場所に設置した。

記入に当たっては、記述欄が増えたことから、内容を統一するためのより詳しい説明が必要と考えた。そこで、①記入上の注意点、②各項目の説明、③記述の良い例と悪い例、④実際の記入例を提示した。

#### (5) 記入後の検討

新しい情報共有シートに記入したところ、必要な情報が書かれていない、状況が十分に表わされていない、個人的な捉え方になっている、記述する作業が負担となり空欄になっている等、より多くのばらつきが見られる結果となった。このことから、説明を詳しく提示しただけでは、項目の意図が伝わらなかったことが分かった。そこで今回は、チームのメンバーが分担して、記入者の個別指導に当たった。その際、記述欄について記入してほしい項目の一つひとつつ列挙した。また、様式自体を一部修正し、より分かりやすい内容にする、既存の資料を更に添付する、といった工夫を加え、内容の統一と充実を図った。

表1 情報共有シート（新）の項目と内容

項 目	内 容
身体の状態	看護的な情報で、育成部にも関わりのあるもの
補助用具	日常的に使用している車椅子など
家族・近親者の状況	入所者との話題として 保護者への対応について
ADL①移動	本人の移動手段 車椅子の使用状況・注意点
ADL②食事	食形態・好み・介助方法など
ADL③着脱・入浴・排泄	介助方法を中心に
ADL④睡眠・ポジショニング	夜間覚醒時への対応 臥床時の姿勢ケア
安全への配慮	多動な入所者を中心とした個別対応の方法
コミュニケーション① 表現・理解など	コミュニケーションの特徴が捉えやすいよう、選択項目を多く設定
コミュニケーション② 本人との約束事	ある程度のコミュニケーションが可能な入所者について 継続的に取り組んでいること・こだわりが見られた時の関わり方など
変更点	入所者自身の変化 対応方法の変更について

## 5. 考察

今回の取り組みでは、当施設の職員が、全入所者の個別の情報について、職種や経験年数を問わずに共有できる資料の作成を試みた。利用者の情報は介助場面を中心に整理し、名称を「情報共有シート」とした。保管場所は、施設の職員詰所内で、自由に閲覧できる位置にした。これにより、職員間の情報共有が行いやすくなったと言える。

シートの作成により、新任職員や実習生に対しては、必要な情報を一定の形で指導することができるので、業務への導入や習得がしやすくなるものと思われる。また、利用者への個別対応の方法が統一しやすくなり、時間の経過や職員の入れ替わりによってあいまいになった場合の修正も、容易になると考えられた。統一された対応方法を継続することで、職員は変化に気付きやすくなり、対応方法を適宜見直すこと、新しい情報を共有して行き援助の幅が広がることも今後は期待している。また、利用者が落ち着いて生活することができ、信頼関係が深まることにもつながると考えられる。

情報共有シートに関するアンケートの実施では、情報共有シートに対するプラスの評価や、今後につながる意見が多く寄せられ、チーム以外の職員の多くも、この取り組みに関心を持ったことが確認できた。

一方、取り組みの過程については見通しが不十分で、方向性や作業内容を何度も検討し直した。特に記入については、内容を統一する難しさが明らかとなった。項目の説明だけでは意図が伝わらず、最終的にはチームのメンバーによる個別の指導が必要であった。

また、現在の情報共有シートの活用方法は、新任職員が閲覧する程度で、限定的である。情報量の多さが、閲覧への意欲を妨げていることも考えられる。今後、実際に活用されるための働きかけが必要であると言える。日常的に活用して、職員間の情報共有から入所者の理解へとつなげ、個別支援計画との関連付けや、リハビリスタッフ等含めた多職種間の連携にも活用できるものにして行

きたいと考えている。

## 6. 今後の課題

来年度からは、具体的な方法を提示し、情報共有シートを有効に活用したい。変更点をカンファレンスの場で記入するなど、新しい情報が得られるものにしていくと同時に、見る機会も設定していく予定である。また、新任職員が、得た情報を活かして行けるような指導方法も検討したいと考えている。さらに、3年毎のシートの再作成も実行し、今後も継続した取り組みを行っていきたい。

② 家族・近親者の状況 入所者 ( )

内容		変更点
キーパーソン ( ) <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 年 ( ) 回程度 面会 主な来訪者 ( ) 外出 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 年 ( ) 回程度 外泊 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 年 ( ) 回程度 特記事項		
家族構成図  男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/>		

① 2病棟 情報共有シート 平成 年 月 日作成 記載者:

ふりがな	写真	
氏名	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
生年月日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成
年齢	才 ( ) 部 ( ) 年 ( )	
身障手帳	<input type="checkbox"/> 有 ( ) 級 ( )	<input type="checkbox"/> 無
療育手帳	<input type="checkbox"/> 有 ( ) A ( ) B ( )	<input type="checkbox"/> 無
入所年月日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成

ADL① 移動 変更点

内容	変更点
特徴的なこと・注意点など <input type="checkbox"/> 歩行 <input type="checkbox"/> 支持歩行 <input type="checkbox"/> 膝立ち <input type="checkbox"/> 四つばい <input type="checkbox"/> いざり <input type="checkbox"/> ひじばい <input type="checkbox"/> 背ばい <input type="checkbox"/> 寝返り <input type="checkbox"/> 移動困難	<input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> 歩行
主な移動手段 特徴的なこと・注意点など	<input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> 歩行
病棟外での移動手段 特徴的なこと・注意点など	<input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 全介助
車椅子の乗降	

身体の状態 変更点

内容	変更点
感染症: <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 ① cm ( ) 年 月 日 ④ cm ( ) 年 月 日 ② cm ( ) 年 月 日 ⑤ cm ( ) 年 月 日 ③ cm ( ) 年 月 日 ⑥ cm ( ) 年 月 日 ① kg ( ) 年 月 日 ④ kg ( ) 年 月 日 ② kg ( ) 年 月 日 ⑤ kg ( ) 年 月 日 ③ kg ( ) 年 月 日 ⑥ kg ( ) 年 月 日 頻度・状態・時間帯など <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

補助用具 変更点

内容	変更点
車椅子 <input type="checkbox"/> 有 ( ) 年 月 作成 ( ) <input type="checkbox"/> 無 座位保持装置 <input type="checkbox"/> 有 ( ) 年 月 作成 ( ) <input type="checkbox"/> 無 補装具 ( ) <input type="checkbox"/> 有 ( ) 年 月 作成 ( ) <input type="checkbox"/> 無 保護帽 <input type="checkbox"/> 有 ( ) 年 月 作成 ( ) <input type="checkbox"/> 無	
特記事項	

ADL④ 嚔嚔・ボジヨニング ) ④ 入所者 ( ) 変更点

夜間睡眠状況	内容 昼夜逆転・覚醒・体位交換の必要・SpO2モニターの使用など		変更点
ボジヨニング	使用理由・方法・図または写真など		

安全への配慮

対応とその理由	内容	変更点

ADL② 食卓 ) ⑥ 入所者 ( ) 変更点

方法	内容 <input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経管 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> その他 ( )			変更点
食事形態	主食	副菜	汁物	水分
	おやつ	好きな物	嫌いな物	
食事状況	エプロン・食具 姿勢・介助方法・誤嚥の危険・注意点など <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助			
<input type="checkbox"/> 脱衛生	注意点・備考 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 全介助			

ADL③ 着脱・入浴・排泄

着脱	内容 介助方法・注意点など <input type="checkbox"/> 見守り等 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 全介助	変更点
入浴	洗体や入浴の姿勢・浴槽の種類・ヘッドフロートの使用など	
排泄	排泄の意思表示について： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 月経： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 トイレの種類・姿勢・オムツの種類・ナースコールなど <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 トイレの種類・姿勢・オムツの種類・ナースコールなど <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	

コミュニケーション②  
本人との約束事

入所者 ( ) ⑥

--	--

備考

--	--

コミュニケーション①

入所者 ( ) ⑥

内容	変更点
<p><b>表現</b></p> <p>特微的なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 快、不快などの感情表現</li> <li><input type="checkbox"/> アー、ウーなどの発声</li> <li><input type="checkbox"/> 喃語の発声</li> <li><input type="checkbox"/> イエス、ノーを答える</li> <li><input type="checkbox"/> 動作表現あり</li> <li><input type="checkbox"/> 単語を話す</li> <li><input type="checkbox"/> 二語文で話す</li> <li><input type="checkbox"/> 簡単な会話ができる</li> </ul>	
<p><b>理解</b></p> <p>特微的なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 身体接触に反応する</li> <li><input type="checkbox"/> 音に反応する</li> <li><input type="checkbox"/> 声掛けに反応する</li> <li><input type="checkbox"/> 禁止、命令、指示が分かる</li> <li><input type="checkbox"/> 単語が分かる</li> <li><input type="checkbox"/> 二語文が分かる</li> <li><input type="checkbox"/> 簡単な日常会話が分かる</li> </ul>	
<p>興味関心(赤紙の過ごし方など)</p>	
<p>特微的な行動(行動障害:強いこだわり・自傷・排泄関係・他害など) <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>特になし</p>	

